

第6回行政経営改革審議会 事前質問事項

■第6回審議会提案項目

ページ・項目	質問・意見	回答・対応
P25 ①持続可能な財政運営プラン【仮称】の策定	プランの策定に向けた取り組みや、いつまでにプランを策定するのかも記載が必要ではないか	財政運営プランについては、行政経営改革大綱の内容を踏まえたものとし、令和8年度に策定します。
P26 1 現状及び課題	「市税収納率が県内市で最下位」とあるが原因分析はしているか	現年分収納率の向上には、適時の納税催告と滞納初期段階での納税折衝と合わせ、財産調査等を踏まえた厳格な滞納処分の執行が必要であると考えており、これまで、徴収業務における職員の知識・ノウハウの継承が十分でなかったこともあり、効果的な対応が不十分であったことが要因として考えられます。合わせて、実態のない法人の高額滞納案件が現年分収納率へ一定程度影響している実態もあります。 なお、令和7年度においては、預貯金や保険の調査に加え、給与調査や他自治体への調査を積極的に行いし、滞納処分の厳格化を実施したことにより、滞納繰越分の徴収金額の増加に加え、現年収納率も若干向上しております。
P26 ①ふるさと納税制度等の積極的活用	目標像 313,000 千円は、どのように決められたものか	第3期庄原市長期総合計画において、令和11年度での中間目標額を 263,000 千円、令和16年度での目標額を 513,000 千円と定めていることから推計した額として、本行革大綱の最終年である令和12年度の目標額を 313,000 千円としております。
P26 ③ネーミングライツ等、新たな財源の確保	ネーミングライツ導入施設数について、現状：1施設、目標像3施設とあるが、現状の年間収入金額はいくらか。 また、目標の3施設で、年間収入金額をどの程度で考えているか	庄原市民会館(みどりしんきんホール)で年間 880,000 円の収入となっており、目標額については現在検討中です。
P28 ①「選択と集中」「優先性と有効性」を基軸とした予算編成	取り組み事項の「(3) 新たな政策予算等へ柔軟に対応できる財源の捻出」について、「財源の捻出」とは、何らかの歳出削減により財源を捻出する、という取り組みか。	財政運営プランにおいて、毎年度の性質別支出(人件費・物件費・補助費・扶助費等)の目標を示し、行政評価の予算査定への反映の仕組みを見直すことで歳出の最適配分を図り、政策的事業に投資できる予算を捻出するよう考えております。
P28 ②補助費等負担金・補助金・交付金 の見直し	取り組み事項に「(6) 電子マネー付きポイントカード「なみか・ほろか」を活用した補助金交付の検討」とあるが、「なみか・ほろか」により補助金交付することで歳出の削減ができるという解釈でよいか	補助金の見直しについては、削減のみを目的とするものではなく、交付目的を達成するため最適な補助金交付のあり方も取り組みの項目とするよう考えております。 そのうえで、地域経済の振興に補助金の使用を促すため、地域の電子マネー付きポイントカードである「なみか・ほろか」の活用について検討することとしております。